

# 施策評価（令和3年度）

施策評価調書
--------

戦略4 秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略			
施策4-3 文化の発信力強化と文化による地域の元気創出			
幹事部局名	観光文化スポーツ部	担当課名	文化振興課
評価者	観光文化スポーツ部長	評価確定日	令和3年8月26日

## 1 施策のねらい（施策の目的）

多くの訪日客を迎える東京オリンピック・パラリンピックは、本県の文化を国内外にアピールできる絶好のチャンスであることから、多彩な文化事業を実施し、秋田ならではの文化を国内外に発信することで、交流人口の拡大につなげていきます。

また、本県の文化を発展させ、次の世代に継承していくため、文化団体の活動の活発化や若手の人材育成に取り組むとともに、本県文化の中核拠点となる文化施設の整備を推進します。

## 2 施策の状況

2-1 代表指標の状況と分析							施策の方向性(1)~(3)	
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
文化事業への来場者数(人)	目標			455,000	460,000	465,000	470,000	
	実績	449,311	315,365	465,879	450,445	54,435		
	達成率			102.4%	97.9%	11.7%		
出典: 県文化振興課調べ		指標の判定		a	b	e		
分析 (推移、実績・達成率、順位等)	順位等	全国	-	-	-	-	-	
		東北	-	-	-	-	-	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の芸術文化活動の振興に寄与し、かつ公益性のある文化事業について積極的に後援した（43件（対前年度比△41件））ほか、県内の文化団体等が行う交流人口の拡大等に資する取組9件（対前年度比△13件）について助成（「文化による地域の元気創出事業費補助金」）等を行ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、令和2年10月に男鹿市で開催する予定だった「新・秋田の行事（2日間で見込み来場者30,000人）」の中止等を受け、目標を大きく下回った。</li> </ul>								

### ※ 指標の判定基準

「a」：達成率 $\geq$ 100% 「b」：100% $>$ 達成率 $\geq$ 90% 「c」：90% $>$ 達成率 $\geq$ 80%

「d」：80% $>$ 達成率 又は 現状値 $>$ 実績値（前年度より改善） 「e」：現状値 $>$ 実績値（前年度より悪化）

「n」：実績値が未判明

2-2 成果指標・業績指標の状況と分析

							施策の方向性(1)(2)	
成果・業績指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
「beyond2020プログラム」認証事業数(件)	目標			20	30	40	50	
	実績	—	7	37	38	23		
出典:県文化振興課調べ	達成率			185.0%	126.7%	57.5%		
分析 (推移、実績・達成率、順位等)	順位等	全国	—	—	—	—	—	
		東北	—	—	—	—	—	
	・東京オリンピック・パラリンピックの開催に当たり、国が日本文化の魅力 ホームページ等で世界に向けて紹介する「beyond2020プログラム」について、平成30年4月から本県も認証組織になったことから、県内文化団体等に対する同プログラムの周知に努めるとともに、「文化による地域の元気創出事業費補助金」において同プログラムの認証を受けることを交付要件としたこと等で認証件数が増加していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により事業の申請が減少したため、目標を下回った。							

2-3 施策の取組状況とその成果(施策の方向性ごとに記載)

(1) 秋田ならではの文化資源のPRと、文化を通じた交流人口の拡大【文化振興課】	指標	代表①、成果①
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内文化団体等への「beyond2020プログラム」の周知等に努めるとともに、民間団体が企画する芸術文化活動等の開催経費に対して助成する「文化による地域の元気創出事業費補助金」において、同プログラムの認証を受けることを交付要件としたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、認証件数は23件&lt;△15件&gt;にとどまった。</li> <li>あきた文化情報サイト「ブンカDEゲンキ」及びFacebookにおいて、県主催事業やあきた文化交流発信センターのイベント情報等を随時発信した。「ブンカDEゲンキ」のページビュー数は85,043回&lt;△23,773回&gt;、Facebookの「いいね」数は5,068件&lt;△20件&gt;であった。</li> <li>文化団体による民謡や音楽、ダンスなどの文化イベント開催や、美術、文芸作品の展示など、県民が日常的に鑑賞できる場である「あきた文化交流発信センター(秋田駅前商業施設内)」において、民謡や秋田万歳等の伝統芸能をはじめとする文化イベントが開催されたほか、書道・いけばな・写真や本荘ごてんまりなどの展示を実施し、本県文化に触れる機会を提供したが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、文化イベントの開催数が減少し(文化イベント82件&lt;△76件&gt;、展示14件&lt;△5件&gt;)、来場者数も延べ8,289人&lt;△19,260人&gt;にとどまった。</li> </ul>		
<b>&lt;新型コロナウイルス感染症の影響&gt;</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統行事「男鹿のナマハゲ」にスポットを当て、男鹿市において本県を代表する伝統芸能等が一堂に会する「新・秋田の行事」を2日間開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、中止となった(出演団体は17団体を予定&lt;+5団体&gt;)。</li> <li>アフターコロナを見据え、小正月行事を中心とした県内の伝統行事の動画を制作・配信した(8本)ほか、「お祭り体験ツアー」は、感染防止対策を講じながら、男鹿市ならではのナマハゲ太鼓のほか秋田民謡等を体感する内容で実施し、県内外から175人が参加した。</li> </ul>		
<b>(2) 文化団体の活動促進と次代を担う人材の育成【文化振興課】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術文化活動を促進するため、「あきた県民文化芸術祭」を開催(令和2年9~11月)したが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、県、市町村、文化団体による32件&lt;△30件&gt;の文化事業への参加にとどまった。また、工芸の分野で1人に「秋田県芸術選奨」を、ミュージカルの分野で1団体に「ふるさと文化賞」をそれぞれ贈り、優れた創作活動を顕彰した。</li> <li>将来性のある音楽家の発掘・育成を目的とした「青少年音楽コンクール」を開催した(延べ177人参加&lt;+19人&gt;)。また、県民の文芸活動の創作意欲の高揚と文芸活動の普及振興を図ることを目的に、広く県民(県外の県出身者を含む)から文芸作品を公募し、受賞作品を掲載した作品集を刊行した(応募作品284点&lt;+29点&gt;)。</li> <li>若者の力で秋田を元気にする目的で実施した「アーツアーツあきた」において、本県で活躍する若手アーティストによる絵画、彫刻、映像分野の美術展覧会を開催した(出展アーティスト3組&lt;△11組&gt;、来場者数756人&lt;△2人&gt;)ほか、展覧会等での発表を希望する若手アーティストを募り、活動を支援した(アーティスト3人&lt;±0人&gt;、来場者数1,223人&lt;+162人&gt;)。</li> <li>秋田県芸術文化振興基金により、民間団体の多彩な芸術文化活動や若者の文化活動に対して支援を行った(9件&lt;△13件&gt;)。</li> </ul>		
<b>&lt;新型コロナウイルス感染症の影響&gt;</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動の中止等を余儀なくされ、活動できない状態が続くアーティストや活動を披露するために必要不可欠な舞台運営に関わる事業者を支援するため、無観客公演の開催及びその動画制作・配信の取組に対して助成した(7件)。</li> <li>文化活動の発表や鑑賞機会の維持・拡充を図るため、あきた文化情報サイト「ブンカDEゲンキ」に動画配信機能を付加し、芸術文化団体等の活動に関する動画の制作・募集を行い、広く配信した(配信動画数36本)。</li> </ul>		

(3) 本県文化の中核拠点となる文化施設の整備【文化振興課】	指標	代表①
<ul style="list-style-type: none"> <li>秋田市と連携して整備を進めている「あきた芸術劇場ミルハス」について、令和4年6月の開館に向けて事業を進めており、3年3月末時点の建築工事の進捗率は43.4%となっている。</li> <li>あきた芸術劇場ミルハスの開館に向け、県民・市民の機運醸成と施設の更なる周知を図るため、令和3年2月に秋田市文化会館等において、郷土芸能演劇ワークショップを開催（参加者43人）したほか、同年3月には秋田拠点センターアルヴェにおいて、愛称発表イベントを開催した（来場者約320人、出演者110人）。</li> <li>県民会館の閉館中もより多くの県民が芸術文化に触れる機会を提供するため、令和2年12月に県立武道館において、新型コロナウイルス感染防止対策により来場者数を制限したものの、吹奏楽、舞踊、伝統芸能等のステージイベント「Akita Jam Festival 2020」を開催した（来場者約815人&lt;△685人&gt;、出演者230人&lt;△10人&gt;）。</li> <li>県民会館の閉館中も県民が質の高い音楽に触れる機会を提供するため、県内の高校2校を対象にプロの演奏家によるアウトリーチを実施したほか（4回延べ参加者218人）、その集大成となる合同演奏会を令和3年2月にアトリオン音楽ホールにおいて開催した（参加者84名、来場者114名）。</li> </ul>		

### 3 総合評価結果と評価理由

総合評価	評価理由
<b>D</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「文化事業への来場者数」は「e」判定であり、定量的評価は「E」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により当初予定していた事業等が実施できず、令和2年度は実績値が54,435人で目標値の465,000人を大きく下回ったものの、必要な感染防止対策を十分に講じた上で実施した「アーツアーツあきた」や「Akita Jam Festival 2020」等は多数の来場実績を上げた。</li> <li>● アフターコロナを見据え、祭りや伝統行事をはじめとした秋田ならではの文化の県内外への発信の取組を強化し、イベントの中止等を余儀なくされたアーティストや文化団体等が実施した無観客公演の開催の動画制作・配信への助成では、採択された7事業で計約43,000回を超える閲覧実績があり、芸術文化活動の支援につながった。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。</li> </ul>

●定量的評価:代表指標の達成状況から判定する。

「A」:代表指標が全て「a」、「B」:代表指標に「b」があり、「c」以下がない、「C」:代表指標に「c」があり、「d」以下がない

「D」:代表指標に「d」、「e」を含む。ただし、「E」、「N」に該当するものを除く、「E」:代表指標が全て「e」、「N」:代表指標に「n」を含む

●定性的評価:成果指標・業績指標の達成状況を踏まえた上で、施策の取組状況とその成果、外的要因等から判定する。

■総合評価:定量的評価を踏まえた上で、定性的評価を考慮して、総合的な観点から「A」、「B」、「C」、「D」、「E」の5段階に判定する。

### 4 県民意識調査の結果

質問文	国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。					
満足度	調査年度	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	R4 (H34)	前年度比
満足度	肯定的意見	18.1%	17.0%	13.9%		△3.1
	十分 (5点)	2.4%	2.5%	2.0%		△0.5
	おおむね十分 (4点)	15.7%	14.5%	11.9%		△2.6
	ふつう (3点)	39.7%	40.6%	42.1%		+1.5
	否定的意見	27.4%	28.3%	28.9%		+0.6
	やや不十分 (2点)	18.5%	18.9%	19.1%		+0.2
	不十分 (1点)	8.9%	9.4%	9.8%		+0.4
わからない・無回答	14.9%	14.1%	15.1%		+1.0	
平均点		2.81	2.79	2.73		△0.06
調査結果の認識、取組に関する意見等						
<p>○ 5段階評価の満足度の平均点は「2.73」で、「ふつう」の3より0.27低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は13.9%、「ふつう」は42.1%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は28.9%であった。また、「肯定的意見」と「ふつう」を合わせた割合は56.0%であった。</p> <p>○ 「不十分」又は「やや不十分」の理由や県に求める取組として以下のような意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとSNSを利用して若い世代にアピールしたらいい。(女性/40歳代/平鹿地域)</li> <li>・後継者を育て、新しい風を入れてください。今のままではマンネリです。(女性/50歳代/秋田地域)</li> <li>・秋田県民が秋田の自然、文化を知らなすぎ。自信を持ってアピールできていない。(女性/60歳代/秋田地域)</li> </ul>						

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

## 5 課題と今後の対応方針

施策の方向性	課題(施策目標達成に向けた新たな課題、環境変化等により生じた課題 など)	今後の対応方針(重点的・優先的に取り組むべきこと)
(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした本県ならではの文化の発信が十分に進んでいない。</li> <li>● 秋田県民が秋田の自然、文化を知らなすぎ。自信を持ってアピールできていない。(県民意識調査より)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により大規模な公演等が開催できない芸術文化事業について、実際に秋田ならではの文化に触れることができない県内外の人々に対して動画を配信するなど、様々な手法により本県文化の国内外への積極的な発信を進める。</li> <li>● 「あきた文化交流発信センター」や「ブンカDEゲンキ」等において、秋田の文化に関する情報を紹介していくほか、伝統芸能など秋田ならではの文化に気軽に触れ、魅力を実感してもらえるよう、体験型メニューの充実やデジタルツールの活用などにより効果的な発信に努める。</li> </ul>
(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝統芸能や芸術文化活動の担い手の高齢化が進んでいる中、若者育成の観点で取り組んでいる事業への参加が伸びない。(県民意識調査で同様の意見あり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内外の若者に秋田の伝統芸能等について関心を持ってもらえるよう、由来等の紹介や実演・体験を取り入れるなど、新たな手法による取組を実施するほか、引き続き若者の作品発表機会の充実に向けた取組や文化活動への助成制度等を広く周知しながら、鑑賞者の増加への取組と併せ、県全体で若者育成の機運の醸成を図る。</li> </ul>
(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年6月に開館予定の県・市連携文化施設である「あきた芸術劇場ミルハス」では、従前の秋田県民会館における利用受付方法(原則として窓口で手続を行う)の改善を求める声がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 窓口での受付に加え、FAX、メール、郵送等による受付やクラウドサービスの施設予約システムを導入することにより、利用者の利便性・満足度の向上を図っていく。</li> </ul>

※●は県民意識調査結果に関する課題と今後の対応方針

## 6 政策評価委員会の意見

自己評価の「D」をもって妥当とする。